

科目名称 (Course Title)				担当教員 (Instructor)	
キャリア探究 I				谷口 知弘	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2単位	3年次	演習	有 (連絡済)	
授業の概要 (Course Description)					
<p>地域社会は人間関係の希薄化が進む中で、防犯・防災・環境問題・少子高齢化・交通・景観など多様な問題に直面している。このような一般的に語られる状況に加え、地域社会にはその歴史や風土と社会状況が絡み合い個別の問題状況が発生している。地域社会の問題解決に取り組む職能には、机上で得られる「知識」だけでは見えない地域の問題を発見し解決する能力が求められる。問題を見つけるには、まず地域に出て住民と交流することが必要であり、交流を楽しむことが大切である。</p> <p>そこで、各自またはチームで設定したフィールドの各種団体や市民活動団体、NPO 法人、商店街等の人々と交流することから始め、住民との関係づくりを体験的に学びつつ地域の活動を記録・支援し、地域の問題発見や解決に取り組みを実践する。これらの実践を通して協働型の問題解決や未来創造の「知識」「技術」「姿勢」を体験的に身につける。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>①実社会に直接触れることにより、幅広いキャリア観を持つ</p> <p>②地域社会に対する理解と共感を持つ</p> <p>③グループワークによりコミュニケーション能力を高め、多様な価値観や意見に対する受容力を高める</p> <p>④主体的な学び姿勢及び実践能力を身につける</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	オリエンテーション：本講義の目的とプロセス／フィールド紹介				
第 2 回	コミュニティ・デザインの理論と技法①				
第 3 回	コミュニティ・デザインの理論と技法②				
第 4 回	フィールドの関係者との交流と現状把握①				
第 5 回	フィールドの関係者との交流と現状把握②				
第 6 回	問題発見及び課題解決の仮説検討①				
第 7 回	問題発見及び課題解決の仮説検討②				
第 8 回	フィールドワーク①				
第 9 回	フィールドワーク②				
第 10 回	フィールドワークの報告準備				
第 11 回	フィールドワークのまとめ報告				
第 12 回	協働型アクティビティの企画検討①				
第 13 回	協働型アクティビティの企画検討②				
第 14 回	協働型アクティビティの企画提案				
第 15 回	前学期の振り返り、夏期の活動計画検討				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>①ポートフォリオ (振り返り) の作成 (復習)</p> <p>②グループワークの補強 (復習)</p> <p>③グループワークの事前準備 (予習)</p> <p>④予備的な現地見学</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
受講態度 (50%) ポートフォリオ (30%) グループ活動 (20%)	秀：地域社会の問題を的確に捉え、優れた解決策を提示できる。 優：地域社会の問題を的確に捉え、適切な解決策を提示できる。 良：地域社会の問題を捉え、何らかの解決策を提示できる。 可：地域社会の問題に気づき、何らかの解決策を提示できる。 不可：地域社会の問題を把握できず、解決策を提示できない。
テキスト (Textbook)	特になし
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義で配布するレジュメで、適宜参考文献等を紹介する</li> </ul>
備考 (Other Information)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働先の都合等により詳細は変更する可能性がある。</li> <li>・3分の1以上(6回以上)の欠席は、単位不可とする。</li> </ul>
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	taniguchi-tomohiro@fukuchiyama.ac.jp (谷口)